

社会教育だより

SEIRO Syakai Kyouiku dayori

【主な内容】

- 囲碁愛好者100名が聖籠町に集結
フロからの直接指導で魅力堪能 25周年囲碁千里杯 2・3P
- 楽しみながら運動できました
シニア世代の健康教室 4P
- 卒業記念作品作り&町長との懇談会 聖山大学 5P
- 教えてイシダさん！第三弾 聖籠文化財紀行 8・9P

3月1日、2日の両日、交流館「杜」を会場に行われた若手プロ棋士による大会「囲碁千里杯」。小林光一名誉棋聖を始め、予選を勝ち抜いたプロ棋士4名を含む10名のプロ棋士が来町し、トーナメント戦の準決勝、決勝戦、そして囲碁愛好者との交流イベントが行われました。写真は、プロ棋士による指導碁。写真右は史上最年少の11歳でプロとなった藤沢里菜二段。（関連記事：2～3P）

4月

町民会館休館日 7日、14日、21日、28日
トレーニングルーム休館日 7日、14日、21日、28日

ストップ・ザ・いじめ
～やめよういじめ 許さないじめ～
いじめ根絶にいがた県民会議
※聖籠町はこの運動に協力しています

町民会館のホームページ <http://www.kaikan.seirou.niigata.jp>
メールアドレス info@kaikan.seirou.niigata.jp

社会教育だよりは、資源保護のため再生紙を使用しています。

▶藩 坤鉦二段を講師に行われた「こども囲碁教室」。参加した13名の子どもたちは、最後まで真剣に先生の話に聴きこっていました。



囲碁愛好者100名が聖籠町に集結

プロからの直接指導で魅力堪能

25周年記念囲碁千里杯

3月1日と2日の両日、交流館「杜」を会場に25歳以下のプロ棋士による大会「囲碁千里杯」が開催されました。この大会は、史上最年少の11歳でプロ棋士になった藤沢里菜二段を含め、予選を勝ち抜いた4名の若手棋士が優勝を争う大会で、損害保険などを扱う(株)千里が主催したものです。聖籠町も囲碁の普及による人材育成、地域活性化を目指していることから共催として会場提供並びに運営に携わってきました。

大会の結果は、1日の準決勝を勝ち抜いた鈴木伸二四段と平田智也三段の決勝戦となりましたが、前半の厳しい状況から逆転した鈴木伸二四段が優勝を飾りました。

また、両日には町民会館を会場にプロ棋士による「こども囲碁教



▲藩二段に直接指導を受けた子どもたち。(こども囲碁教室)

室」や「指導碁」、「決勝戦大盤解説会」も行われ、聖籠町を始め、県内各地から約百名の囲碁愛好者が参加し、プロから直接指導を受けながら囲碁の楽しさ、奥深さを実感していました。

1日に行われた、こども囲碁教室では13名の聖籠町の子どもたちが、藩坤鉦二段と急遽加わってくれた小川誠子六段から指導を受けました。参加した子どもたちは真剣にプロ棋士の話を聴きながら、褒められると笑顔を見せたり楽しそうな様子でした。

2日に行われた30名限定の指導碁は、7名のプロ棋士が一人で2名〜5名と同時に対局するもので、参加者はプロと直接対局できる貴重な機会を楽しみながらも、時には感嘆の声や、険しい表情も



▲参加した有段者を相手に最多5面打ちで行われた対局。(指導塾)



▲ユーモアを交え決勝戦の様相を解説する小林光一名誉棋聖と藩二段。(決勝戦大盤解説会)



3月16日、生涯スポーツ推進協議会主催による普通救命講習会が開催されました。

この事業は、スポーツ事業を含め日常において起こりうる心肺停止などの事態に対処する技能を多くの人が習得することで、安心してスポーツを楽しめる環境づくりを目的に実施されたものです。

当日は体育関係者等31名が参加し、消防署員の指導のもと、人工



呼吸や心臓マッサージの心肺蘇生法と、蘇生率の向上に非常に有効な手段となる電気ショックを利用した除細動器(AED)の操作方法等の講義、実技が行われました。

参加者からは、「非常に有意義な講習だった」、「いざという時に実行できるかが問題、自信をつけるためにも今後も受講していきたい」といった感想が聞かれました。

いざという時に救命処置 救命講習会を開催しました

生涯スポーツ推進協議会

見せていました。聖籠町から参加の渡辺丈久さんは「今回が初めてのプロとの対局。分からないなりに楽しめました」、新潟市から参加の中学生、真島大武さんは「勉強になった。こういう機会をもっとつくってほしい」と語ってくれました。

最後に行われた決勝戦は、スクリーンに盤面の様子を映しながら、藩坤鉦二段が聞き手となり、小林光一名誉棋聖(九段)が解説する形で大盤解説会が行われました。

参加した約60名の囲碁愛好者は、

若手プロの目まぐるしく変化する情勢に声一つ立てずに見入りながらも、藩二段と小林名誉棋聖のユーモアを交えながらの奥深い解説にうなずきながら聴き入っていました。

聖籠町でも毎週土曜日9時30分～11時00分に町の子どもたちを対象として「こども囲碁ふれあい教室」を開催しています。参加の希望やお問い合わせは、TEL27・2111、聖籠町教育委員会学校教育課までご連絡ください。

楽しみながら運動できました

文部科学省委託事業となる「シニア世代の健康教室」が3月9日、町民会館柔剣道場を会場に開催されました。

このイベントは、子育てを終えて運動不足となりがちな40代以上を対象に、楽しく運動することで、運動への参加意欲と健康への関心、そして交流の場となればと開催されたものです。
当日は、40代から70代の15名の皆さん

が参加し、主にボールを使いながら柔軟体操や脳を使った運動、全参加者が一緒に行うボール回しゲームなども行われました。参加者からは「凄く楽しい企画。もっと多くの人に参加してもらいたい」、「定期的に開催してほしい」などの感想も聞かれました。
当日の参加者アンケートの結果もお知らせします。

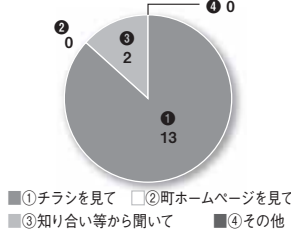


シニア世代の健康教室 参加者アンケート集計

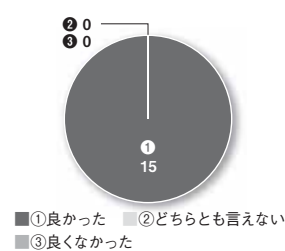
1. この事業のことをなにごで知りましたか？	
①チラシを見て	13名
②町ホームページを見て	0名
③知り合い等から聞いて	2名
④その他	0名
2. この事業に参加してどうでしたか？	
①良かった	15名
②どちらとも言えない	0名
③良くなかった	0名
3. また同じような事業があれば参加したいですか？	
①参加したい	15名
②どちらとも言えない	0名
③参加しない	0名

4. その他の意見
- ・楽しんで体を動かすことができ良かったです。…………… 4
 - ・定期的に開催してもらいたいです。…………… 2
 - ・楽しかったです。今度は孫と一緒に楽しみたいです。…………… 1
 - ・年齢相応の動きでとても良かったです。…………… 1
 - ・股関節を使った歩き方など色々参考にりました。…………… 1

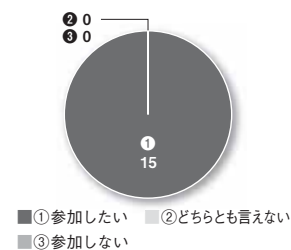
1. この事業のことを何で知りましたか？



2. この事業に参加してどうでしたか？



3. また同様の事業があれば参加したいですか？



全国大会等出場激励金のご案内

町では、文化芸術またはスポーツ分野において、優れた成績を修めて全国大会等に出場される方に対して、申請により激励金を交付しています。
25年度は52件、138万円を交付しました。
該当される方は町民会館へお問い合わせください。
平成25年11月から26年3月までに対象となった方を紹介します。(敬省略)

●国際大会出場

- ・小林かなえ(山大夫) フェンシング
- ・阿部悠吾(蓮渦) フェンシング
- ・曾根一葉(蓮渦) フェンシング

●全国大会出場

- ・ジャパンサッカーカレッジ高等部レディース(網代浜) サッカー
 - ・阿部夏美(山倉) フェンシング
 - ・阿部悠吾(蓮渦) フェンシング
 - ・ジャパンサッカーカレッジ高等部(網代浜) サッカー
 - ・森彩音(次第浜) サッカー
 - ・高橋孝美(次第浜) 綱引き
- ### ●北信越大会等出場
- ・高口愛由(蓮渦) ピアノ
 - ・阿部悠吾(蓮渦) フェンシング
 - ・魚野星花(ひばりが丘) ピアノ
 - ・相馬花音(真野) ピアノ
 - ・森彩音(次第浜) サッカー

寒さに負けず、活発に活動しています
卒業記念作品作り&町長との懇談会

2月14日、聖山大学での学びも残りわずかになってきたこの日、1年間の活動の記念に陶芸で茶碗やお皿、お椀など思い思いの作品を作りました。

卒業後もこの作品を見て、聖山大学の活動や同級生を思い出していただければと思います。ご指導いただいた、敬和学園大学の趙先生、町陶芸サークルの皆様ありがとうございました。

みなさんでワイワイ話ながら、楽しく作りました。



先生に教えていただきながら、上手に作れました。

3月6日、39・40・41期生を対象に町長との懇談会を開催しました。26年度の当初予算や主な事業など町の取組みをスクリーンに映し、分かりやすくお話ししていただきました。今回を機に町に興味を持ち、様々な事業に積極的に参加していただきたいです。



熱心にお話ししていただきました。

真剣な表情で、町の取組みを聞いていました。



平成26年度 高齢者学級「聖山大学」
第42期生を大募集します

町公民館では、平成26年度の高齢者学級「聖山大学」の学生を募集いたします。交流の輪を広げて仲間づくり、健康づくりをしたい方のお申込みをお待ちしています。

老人クラブに入会されていない方も大歓迎です！

～事業予定～

- ・ 地域の子どもたちとの合同事業（芋植え・地引き網等）
- ・ 施設見学（町内外の企業）
- ・ 作品作り
- ・ キャンプ
- ・ 修学旅行
- ・ 講演会

他にもみなさんの意見を聞きながら月1・2回程度の事業を考えて行います。



▲修学旅行で東京に行ってきました

募集期間：平成26年4月8日（火）まで

学び期間：平成26年5月～平成27年3月

参加資格：町内在住の60歳以上の方

入学金：3,000円（その他事業会費で2～3,000円程度かかる場合があります）

お問い合わせ：町民会館 27-2121 担当：足立



町内三小学の
1年生～6年生
児童対象

～子どもたちには小さな冒険(体験)を～
社会教育課 週末子ども事業

週末体験くらぶ2014

登録(無料)のご案内です。

毎週土曜日(ときどき祝日・日曜日)午前9:30～11:30、
町民会館や町内公共施設を会場にして遊んでいます。



ペットボトルいかだ



磐越Sレみんな旅



芸術的チョコ作り



カッパ伝説のなぞ



ソリンピック2014



いもたちの入学式(苗植)

協力団体・組織・ コラボメンバー

- 安全運営管理委員
- 聖籠町青少年育成会
- 聖籠町陶芸サークル
- 炎の会(油絵)
- 優遊会(絵手紙)
- フォートせいらう(写真)
- 優遊会(絵手紙)
- 敬和学園大学
- グリーン産業(株)
- JAPANサッカーカレッジ
- 卓友会(卓球)
- 聖山大学



サッカーで遊ぼう



町音楽祭

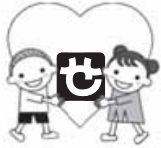
週末体験くらぶのことを詳しく書いた登録申込み用紙を4月上旬に学校を通じてお渡ししますので、よろしくお願ひします。

お問い合わせ先

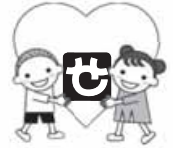


英語で遊ぼう

聖籠町町民会館 ☎27-2121 (つなひき にいいい) 担当/松井・高松までお願いします。
Eメールでのお問い合わせは info@kaikan.seirou.niigata.jp 件名「週末体験くらぶQ」で



学校支援地域本部事業



ひろがる ふれあい みつける よろこび

平成25年度 第2回 地域教育協議会 2/12 開催

第2回 地域教育協議会の内容

- 1 本部長あいさつ
- 2 議事
 - (1) 平成25年度 学校地域支援本部事業活動経過報告
 - (2) 活動の成果・課題について
 - (3) 各学校からの意見と今後の取り組みについて
 - (4) 意見交換
 - (3) その他
- 3 閉会のあいさつ (副本部長)



●職員の皆さんからの感想や意見・要望

蓮野小…サポーターの登録人数が少なかったところを、PTA会長が事あるごとに声を掛け、集落の代表の方に呼びかけサポーターが増えた事が一番の成果で嬉しい。
クリーン作戦の引率の人数が増えない。農繁期と時期が重なるようなので、活動時期の変更など検討したい。

山倉小…今年度の活動を継続して欲しい。大峰山登山での引率や、チャレンジランニングではリハーサルから本番まで継続した安全見守りのサポートに入ってもらい、サポートがなければ、職員だけではできないと感じている。

亀代小…スキー授業が今年度から始まり、職員だけでは手が足りないところをサポートに入ってもらう事ができた。来年度以降もお願いしたい。
学校としてもPTAに紹介し、PTA総会などでPRしサポーターを増やしたい。



町青少年健全育成講演会 (2/22) での本部事業PR活動



町民会議会長の田村さんより学校支援地域本部事業PRの時間をいただき、講演会に参加された町民会議育成員や集落区長、保護者のみなさんへ「25年度のサポーター活動紹介と26年度子どもサポーター募集」の説明をしました。



平成26年度 『子どもサポーター』募集しています。

サポート活動内容…校外学習の引率補助、駐車場の誘導、家庭科、音楽、本の修理、昔遊びなど…《できる事を できる時に できる範囲で》子どもたちと一緒に楽しみながら活動して下さる方の参加をお待ちしています。

- ★ 申し込みは、学校支援地域本部（聖籠町町民会館・社会教育課内）の窓口で受けつけております。
なお申し込み用紙は、町内小学校・聖籠中学校地域交流棟・町民会館・結いハート聖籠にも用意しております。
(サポーターによる活動は、無償とさせていただきます。)
- ★ 登録していただいた方には、後日連絡させていただきます。

問い合わせ：聖籠町学校支援地域本部（聖籠町町民会館・社会教育課内） ☎27-2121
地域コーディネーター：新保利文・佐久間千都・堀 弘美・大倉幸子



新連載
シリーズ第3弾!!

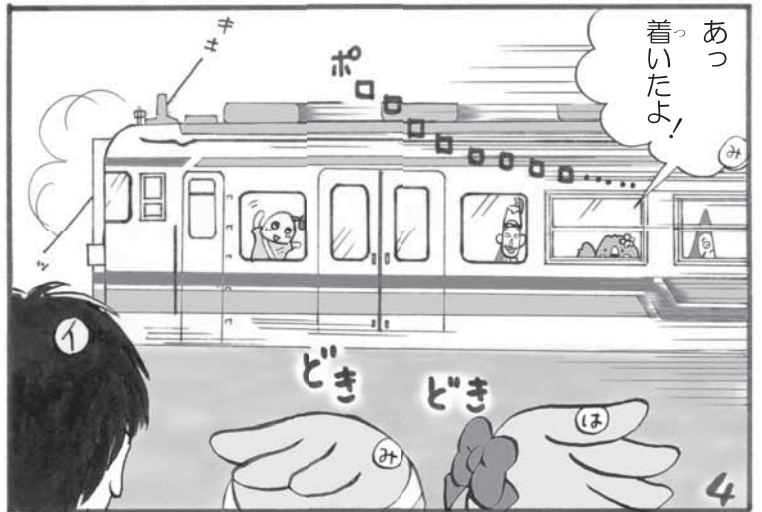
教えて
イシダさん!!

せいろう ぶんかざい きこう

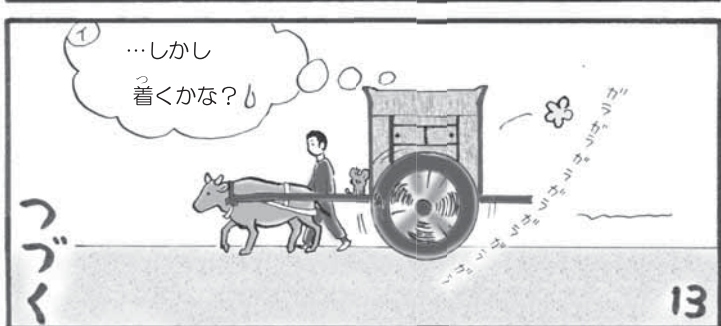
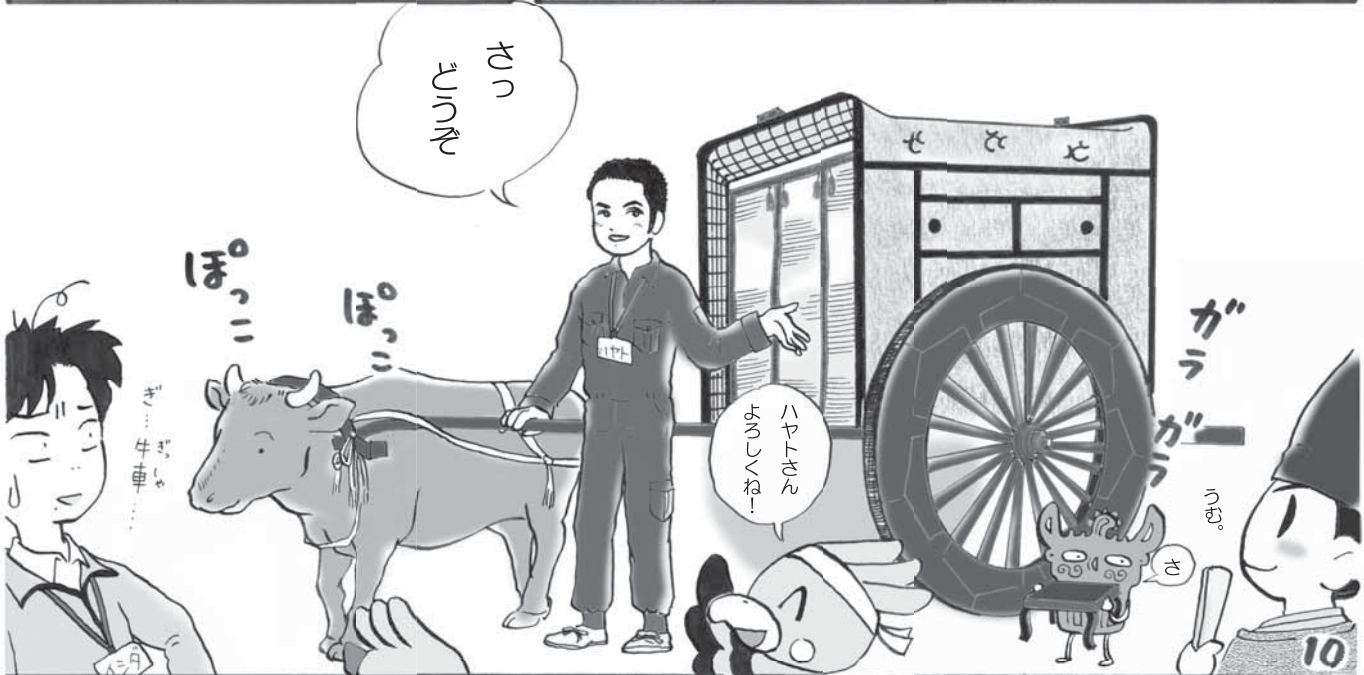
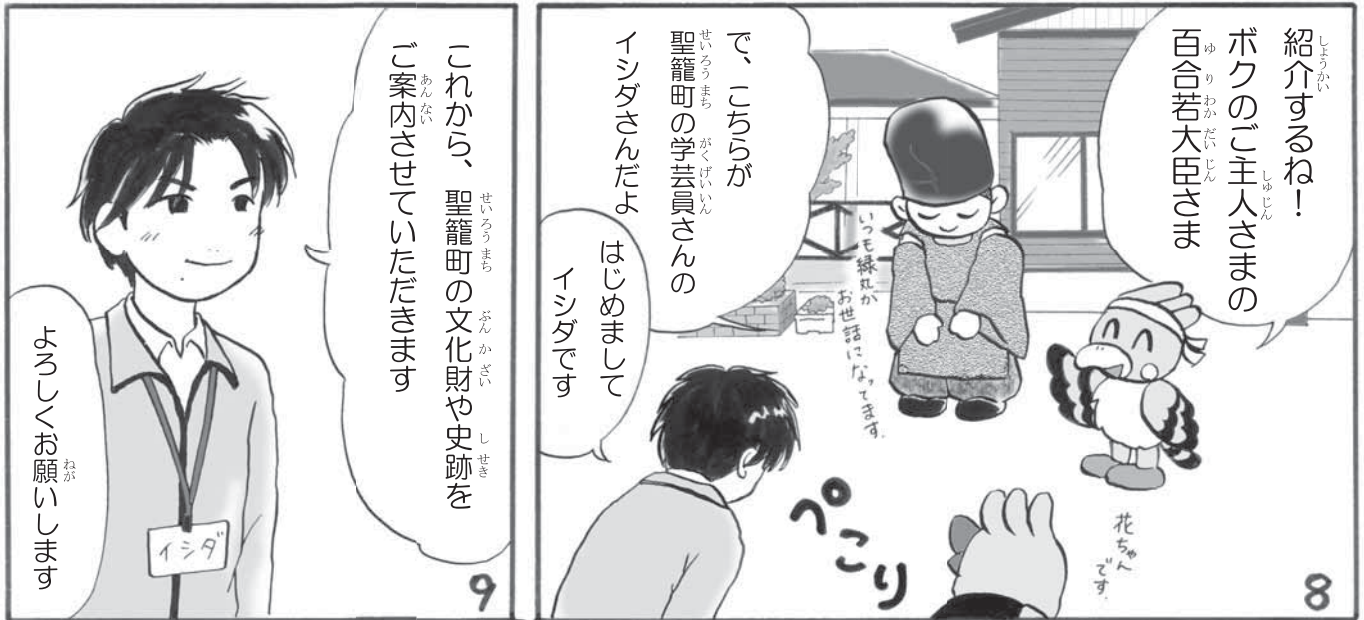
聖籠文化財紀行

第一話

作/高橋明公子



* 百合若大臣を知らない人は、『せいろうまちの文化財と昔ばなし』の「聖籠のいわれと百合若伝説」を読んでね。



本れる場合は、事前に
社会教育課へご一報ください。



お願い

聖籠町内で工事をさ
聖籠町教育委員会

聖籠町で建築・土木工事を計画されている方へ……………

開発事業等に伴う法的手続について(埋蔵文化財)

皆さんの計画地に遺跡が埋蔵されているかもしれません! 早めの照会や協議をお願いします。

■聖籠町内で建築・土木工事を計画されている場合

聖籠町内で建築・土木工事を計画されている場合は、その計画地が埋蔵文化財包蔵地(遺跡)に該当するかどうか、確認する必要があります。

聖籠町では、各種建築・土木工事を伴う開発事業の実施に先立ち、埋蔵文化財の有無や取扱いに関する照会を事業者をお願いしております。聖籠町内で現在確認されている埋蔵文化財包蔵地は右図1~47の地域です。埋蔵文化財包蔵地で工事を行う場合には、文化財保護法により事前に届け出が義務づけられています。また、埋蔵文化財包蔵地でない場所であっても、見つからずに埋もれている場合がありますので、お手数ですが早めに照会をお願いします。

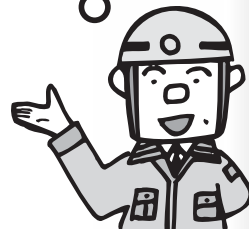
■試掘確認調査の実施

事業予定地内が埋蔵文化財包蔵地である場合は事前に確認調査を行い、工事が埋蔵文化財に影響を及ぼす範囲を確認し、場合によっては発掘調査を行う必要があります。

また埋蔵文化財包蔵地に指定されていない場合でも、事業予定地の立地等により埋蔵文化財が包蔵されている可能性がある場合には、事前に試掘調査のご協力をお願いします。

※なお、工事中に土器等が発見された場合には速やかに届け出ることが義務づけられており、協議が必要となります。事業計画が変更されることを回避するためには、埋蔵文化財の有無を事前に確認することが大切です。開発計画の円滑な遂行と埋蔵文化財保護のために、事前協議をできるだけ早期にお願いします。

試掘調査の費用は、原則として町が負担します。



埋蔵文化財に関する質問・問い合わせ先

聖籠町教育委員会社会教育課 担当 石田

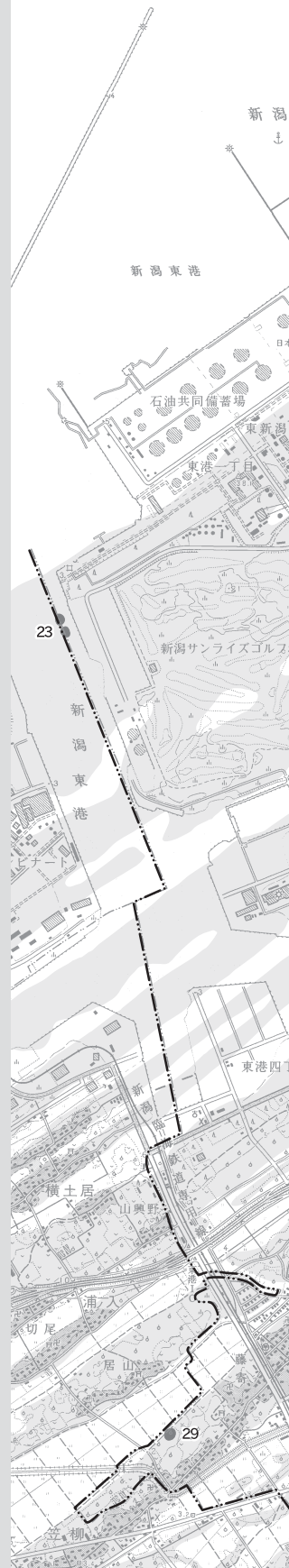
TEL 0254-27-2353 FAX 0254-20-8141

- | | | | |
|-----------|--------------|------------|-------------|
| 1. 二本松遺跡 | 12. 丸渦飛地屋敷遺跡 | 26. 正庵Ⅰ遺跡 | 36. 次第浜遺跡 |
| 2. 山三賀Ⅰ遺跡 | 13. 山下遺跡 | 27. 正庵Ⅱ遺跡 | 37. 聖籠山遺跡 |
| 3. 山大夫遺跡 | 16. 本三賀遺跡 | 28. 蓮野Ⅱ遺跡 | 38. 稲の平遺跡 |
| 4. 聖籠観音遺跡 | 17. 諏訪山Ⅰ遺跡 | 29. 藤寄遺跡 | 39. 真野Ⅰ遺跡 |
| 5. 金港遺跡 | 19. 別行遺跡 | 30. 三辺遺跡 | 40. 真野Ⅱ遺跡 |
| 6. 桃山遺跡 | 21. 前畑遺跡 | 31. 正庵Ⅲ遺跡 | 41. 坊主山遺跡 |
| 7. 蓮野Ⅰ遺跡 | 22. 追分遺跡 | 32. 長山辺遺跡 | 42. 御山下遺跡 |
| 8. 木ノ株遺跡 | 23. 東港亀塚遺跡 | 33. 諏訪山Ⅱ遺跡 | 43. 二本松東山遺跡 |
| 10. 下新田遺跡 | 24. 山三賀Ⅱ遺跡 | 34. 山倉遺跡 | 44. 諏訪浦遺跡 |
| 11. 道下遺跡 | 25. 山縁遺跡 | 35. 雨池遺跡 | 45. 佐々木山遺跡 |
| | | | 46. 漏尻遺跡 |
| | | | 47. 菖蒲沼遺跡 |

※ 番号は遺跡の登録番号

● 埋蔵文化財包蔵地

新潟県農地部農地計画課編
下越開発地域土地分類基本調査
1973【新潟】1973【新発田】1972【中条】を一部改変



今月の短歌

※聖籠町短歌会の作品(平成二十六年二月)を紹介しします。

坂道を登りやすくと整地せば猫一番に登り来るなり

秋山 美喜雄

仰ぎ見る冬の眩しき青空に湧き出る雲よ止まらずに行け

岩橋 俊三

大勢で顔を合わせて食事する一人欠けても寂しきものよ

小野 ハナ

詠み置きし二十五年の歌アルバムをめくるようにも独り読みゆく

小野 眞智子

万両の赤き実くちに小鳥あぬいただきますと小首をかしく

小柳 正平

陽の照れば風除けの玻璃戸に蛇とびて雪なき睦月を謳歌するなり

近藤 アキ

夢もてる少年の汗と力見つススポーツジムに自転車漕ぐ

駒田 文雄

はだか樹は雪花咲かせ清清と峰峰の杉凜として立つ

斎藤 経子

七草のお粥を炊けば香は満ちて厨の春に孫ら寄り来る

渋谷 カツ子

パリンパリと薄氷り踏む水溜り時間かけての今日のコースは

佐久間 トエ子

初雪が大地を白に染めし朝わが身ころも清められたり

高橋 一彦

若き日を語り合いては茶を啜るたった二人の冬籠りなり

丹呉 ヤエ

賑やかに和みて向う夕餉ありき二度と戻らぬ団らんの日々

豊島 雪江

休日の掃除洗濯家事終えて友とのランチに薄化粧する

平野 増江

義父逝きて義母も亡くなり誰も居ぬ家にダイヤルそっと回せり

星尾 美枝子

工事に道あけくれし若者の笑顔はまぶし齒のみ眞白し

本田 ヨセ

湯豆腐を囲みて夕餉の三世代平凡といえど安らぎに充つ

渡辺 ルリ子

りんご・みかん・えびも殻ごと食む我を女孫は口あけ見つめてゐたり

渡辺 久仁子

溶鉦炉滾る響きに浜揺らす怒涛が夕日に噛みつきてをり

講師 阿部 昌彦

今月の俳壇

平成二十六年二月句会抜粋

虎落笛一夜を我の枕辺に

小林 緑風

乙女らの凜凛しく舞ふや氷上に

諏訪 明子

風花に黙して入る足湯かな

石澤 敏子

春の月帳を照らす隠居部屋

渡辺 ルリ子

春日射す吾の読入る本眩し

長谷川 早苗

老の身をいかに生きんか雪ふかし

本田 ヨセ

春の海船先に砕く泡の帯

清水 一雄

退庁を知らず時刻や日脚伸ぶ

高橋 秋荷

白砂糖まぶせし様や屋根の雪

豊島 雪江

流れ来る小川の水や春浅し

早津 れい

笑う子の膨らむポッケ年の玉

宮下 悦子

大寒や駅より出でて皆無口

天尾 壯一郎

初詣で終へて希望をつなぎけり

松木 由紀

春浅し猫も居座る膝の上

斎藤 鉄信

初暦めぐり忘れてはや二月

篠原 キミエ

老木や枝の先まで梅の花

渡辺 テツ子

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
		1	2	3	4	5
6	7 休館日	8 ⓧエアロビクス、 藤寄あそび場	9 ⓧ太極拳、亀代あ そび場、ジュニ アソフトテニス クラブ	10 ⓧピラティス(昼)、 ヨガ(夜)、ジュ ニアバドミント ンクラブ	11 ⓧヨガ(昼)、ハワ イアンフラ	12 ⓧ小学生ヒップ ホップ教室、フ リースポーツ
13	14 休館日	15 ⓧエアロビクス、 藤寄あそび場	16 ⓧ太極拳、亀代あ そび場、ジュニ アソフトテニス クラブ	17 せいろう少年少女 合唱団 入団式	18 ⓧヨガ(昼)、ハワ イアンフラ	19 ⓧ小学生ヒップ ホップ教室
20	21 休館日	22 ⓧエアロビクス、 藤寄あそび場	23 ⓧ太極拳、亀代あ そび場、ジュニ アソフトテニス クラブ	24 ・ブックスタート プラス	25 ・ブックスタート プラス	26 ・週末体験クラブ (NAZO)
27	28 休館日	29 昭和の日	30 ⓧ太極拳、亀代あ そび場、ジュニ アソフトテニス クラブ			ⓧ小学生ヒップ ホップ教室、女 子サッカー教室

※上記予定は変更する場合があります。詳しくは、町民会館 (0254-27-2121) 又はスポネットせいろう (0254-27-1515) へお問い合わせ下さい。

※ ⓧは、「NPO法人スポネットせいろう」の略。

編集の窓から

さくらの便りも聞かれはじめ、今年も若者たちが新社会人として、新たなスタートを切る季節を迎えました。そこで『仕事』について私なりに考えてみました。

世の中の『仕事』を大きく分けるとしたらふたつに分かれます。

ひとつは、建設や生産・製造などに代表される「形に残る仕事」です。

これらの仕事は、毎日私たちが便利で安心快適に生活を送るために、欠くことのできない仕事です。

もうひとつは、医療や福祉・販売・サービスをはじめとする「心に残る仕事」です。

言うまでもなく、健康で明るい毎日を送ることができたり、趣味や娯楽など日々の生活を楽しいものにしてくれる素晴らしい仕事です。

このように考えると大きくふたつに分けた仕事も、すべてはみんなを「笑顔にする仕事」であるということになります。

これから先、幾多の困難はあれど、みなさんの仕事にたくさん「笑顔」が綴られていきますように…

(佐藤)

図書館ご利用のみなさまへ

4月から聖籠町立図書館を 閉館させていただきます

新図書館は、旧聖籠中学校グラウンド跡地にて、平成26年6月新設オープンを目指しています。
なお、4月以降の返却は、各集落・町民会館前のブックポストをご利用ください。



郷土資料(聖籠町に関するもの)寄贈についてのお願い ～地域の情報拠点に～

図書館は、図書等の資料や情報を収集し、貴重な知的財産を、後世に伝える役割も担っています。特に郷土資料(聖籠町に関する資料)は、その地域でなければ収集できないものも多く、入手できない状況にあります。

新図書館には「まち情報ギャラリー」コーナーを設置し、聖籠町の情報を積極的に提供していきたいと考えています。

みなさまのご家庭等で、次のような資料がございましたら寄贈をお願いします。

【聖籠町で出版されたもの】

- ★ 聖籠町の歴史や地理、伝統文化や産業などについて書かれたもの
- ★ 聖籠町出身の方、または聖籠町内にお住まいの方が自費出版された自分史や、俳句や短歌などの作品集
- ★ 聖籠町内のグループや機関が作成した調査資料や同人誌など
- ★ 聖籠町内企業の社史、社内報、研究報告書、パンフレット、リーフレット(商店のチラシ、ポスター、お店のメニュー等)
- ★ 聖籠町内の各学校、こども園、保育園で刊行された資料
- ★ 聖籠町内で行われた行事、催し物等に関する資料(イベント報告書・地域行事・スポーツ大会等)

●ご寄贈の際は、新図書館が開館するまでの間は、現図書館(町民会館内)に電話でご連絡をお願いします。なお、寄贈いただいた資料の取り扱いは、当館に一任願います。

●寄贈いただいた資料は、広く町民のみなさまにご利用いただくとともに、聖籠町独自の貴重な郷土資料として、永年保存し、後世に伝えます。

問い合わせ 聖籠町立図書館 TEL 27-6166